

2022（令和4）年度 社会連携・社会貢献活動
～地域連携～

社会連携・社会貢献の方針	取り組み名／公的機関の委嘱／専修大学が参加している事業名	概要	連携先	取り組み期間・期日
2. 地域社会連携	「KSパートナーシップ・プログラム」川崎市職員の専修大学大学院委託生としての受入れ	「専修大学と川崎市との連携・協力に関する基本協定」に基づき、2名の大学院委託生を受け入れ	川崎市	
2. 地域社会連携	「今、大学生がオススメしたい本！」@川崎市立多摩図書館	川崎市立多摩図書館において図書館ボランティア「Compass」が協力し、展示「今、大学生がオススメしたい本」を開催。展示コーナーにはCompassメンバーが厳選した約100冊の本と、それを紹介するポップなどを飾り、多摩図書館利用者に本との出会いを提供した。 <会場：川崎市立多摩図書館>		2022（令和4）年8月3日～8月31日
2. 地域社会連携	「神三町会 子どもの縁日」運営協力	学生部傘下団体であるSKVが、大学の所属する町会の夏祭りに事前準備から当日の運営まで協力し、有事の際に迅速な行動が出来るよう顔の見える関係づくりの一環として参加協力している。		2022（令和4）年8月27日
2. 地域社会連携	KSパートナーシップ・プログラム連絡協議会	川崎市と大学の双方がテーマを持ち寄り、それぞれ抱えている課題等について協議を行う	川崎市多摩区	2022（令和4）年11月1日
2. 地域社会連携	オープンライブラリー	中学生・高校生・大学受験生を対象に、図書館本館・神田分館・Knowledge Base（靖国通り分館）を勉学の間として開放。 ※ただし、2022（令和4）年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止		夏期休暇期間
2. 地域社会連携	クリーンタウンの実施	《目的》：NP0法人多摩川エコミュージアムおよび体育会本部との連携をはかり、体育会による清掃活動を行うことで専修大学の社会貢献活動の一助とする。 《2022（令和4）年度活動予定》：2022（令和4）年7月02（土）に例年より規模を縮小して実施。 参加者：学生104名、教職員9名、一般（NP0関係者含む）45名 合計158名	NP0法人多摩川エコミュージアム	2022（令和4）年07月02日
2. 地域社会連携	すこやか少年少女スポーツフェスティバル	スポーツ少年団登録者や市内の小学生を対象に、各種目競技を実施するため、伊勢原総合グラウンド（多目的グラウンド）にて総合開会式および陸上競技を開催	伊勢原市役所	2022（令和4）年08月27日
2. 地域社会連携	ねんりんピックかながわ2022における川崎市内会場での動画映像収録・配信および事前PR活動	文学部ジャーナリズム学科福富ゼミナール生による事前PR動画作成・配信（YouTubeほか）と市内2会場での催しの撮影・編集・配信作業。以下のサイトからの発信 https://www.youtube.com/@user-sk2gt2ox4k https://twitter.com/nenrinpic2022 https://www.instagram.com/nenrinpic2022/		2022（令和4）年11月12日～2022（令和4）年11月15日
2. 地域社会連携	危険薬物乱用防止講習会の開催（神田）	神田校舎については川崎市健康福祉局から提供されたパワーポイントを使用して、スポーツリテラシーの講義において1年次生への注意喚起の講演を実施。		2022（令和4）年4月
2. 地域社会連携	危険薬物乱用防止講習会の開催（生田）	生田校舎については川崎市健康福祉局から提供されたパワーポイントを使用して、スポーツリテラシーの講義において1年次生への注意喚起の講演を実施。		2022（令和4）年4月
2. 地域社会連携	幸区および川崎区のPR動画制作	ジャーナリズム学科応用実習科目の課題として川崎市幸区、川崎のPR動画（30秒）を学生課題として制作させ、優秀な作品については幸区長賞、川崎区長賞を受賞（2月に区役所で授賞式）。最優秀作品は川崎駅のアゼリアビジョンや各区役所のサイネージで活用されている。		2022（令和4）年9月～2023年2月
2. 地域社会連携	災害救援ボランティア講座の開催	計80名参加	千代田区内大学と千代田区の連携協力に関する基本協定	2022（令和4）年6月、2022（令和4）年10月
2. 地域社会連携	新たな博物館、美術館に関する意見交換	「川崎市における新たな博物館、美術館に関する基本構想懇談会」が推進する政策検討に多種多様な市民ニーズを反映することを目的として河藤ゼミナールが協力	川崎市	2022（令和4）年07月～10月

2022（令和4）年度 社会連携・社会貢献活動
～地域連携～

社会連携・社会貢献の方針	取り組み名／公的機関の委嘱／専修大学が参加している事業名	概要	連携先	取り組み期間・期日
2. 地域社会連携	神田神保町三丁目町会「神輿」の神田7号館への展示	本学が加入している神田キャンパスの地元町内会「神保町三丁目町会」から、町会所有の神輿の神田キャンパス内での展示と保管について願いがあり、令和2年4月30日に覚書を締結、7号館1階に常設展示し保管することとなった。展示は新型コロナウイルス感染症拡大のため、神保町三丁目町会の都合により延期されている。同町会とは、令和5年度中に展示を実現するべく調整をすすめているが、新型コロナウイルス感染症の拡大の推移を見守っている状況である。		2023月3月31日
2. 地域社会連携	親子タグラグビー教室	伊勢原総合グラウンド（多目的グラウンド）にて村田監督に指導を依頼し、ラグビー普及の契機として、小学生でも安全に楽しめる親子タグラグビー教室の実施	伊勢原市役所	未定
2. 地域社会連携	千代田街歩き	SDG 11：貧困撲滅、平等、気候変動削減、健康的な生活の確保という目標の達成が成功するか失敗するかは、都市の支援の下にあります。より大きな不平等に屈することになる。人々が高等教育や雇用の機会を求めるのは都市です。そして、私たちが着実に増加する世界資源の使用を続けるか、それともより持続可能な道を実現できるかを決定するのは都市です。これが、持続可能な開発目標（SDG）11「都市と人間の居住地を包括的で安全、強靱で持続可能なものにする」が非常に重要である理由です。 活動：このセミナーでは、都市の質を向上させる方法、汚染やゴミを減らす方法、そして最も重要なことに、地域コミュニティを改善するために人々とより緊密に接触する方法を学ぶために、毎週街歩きを実施しました。地域社会の生活を改善するためのより実践的なアイデアを開発する。		2022（令和4）年10～2023月2
2. 地域社会連携	千代田学	国際コミュニケーション学部 教授 根岸 徹郎 文化的多様性を持つ千代田区の国際性に関する調査・研究 —千代田区における多文化・国際性という特色をどのように活かしていくか—	千代田区内大学と千代田区の連携協力に関する基本協定	2022（令和4）年4月1～2023月3月31
2. 地域社会連携	千代田区との「大規模災害時における協力体制に関する基本協定」	千代田区と学校法人専修大学との災害発生時及び平常時の協力体制に関する基本協定。協力内容は、次のとおり。 ① 地域住民、千代田区在勤者等の安全確保のために大学施設の一部を一時避難場所として提供 ② 大学施設に収容した被災者への応急医療資材及び備蓄物資の提供 ③ 千代田区から要請のあった被災場所及び避難場所等への学生ボランティアの派遣		2005月4～現在
2. 地域社会連携	千代田区生活環境条例への協力	クリーンタウンの実施 参加者は在学生69、教職員10、町内会・卒業生32の総勢110名。	千代田区内大学と千代田区の連携協力に関する基本協定	2022（令和4）年5月28日
2. 地域社会連携	専修大学エクステンションセンター公開講座	「川崎市小田急沿線街づくりの1世紀」 経済学部教授 永江雅和		2022（令和4）年10月29日
2. 地域社会連携	川崎ものづくりフェア（ゼミ活動）	川崎市内町工場がモノづくり体験を披露する機会に、ゼミ生・高津高校（定時制）が参加。		2022（令和4）年07月9日
2. 地域社会連携	川崎市スポーツフェスタ2022における運営支援	川崎市スポーツフェスタ2022において、イベントの運営支援を担当		2022（令和4）年1月
2. 地域社会連携	川崎市スポーツ推進審議会会長	川崎市のスポーツ推進計画その他のスポーツの推進に関する重要事項を調査審議する		2019月4月～2023月現在
2. 地域社会連携	川崎市男女平等推進審議会（副会長）	審議会の委員として討議に参加し、会長とともに議事総括を務めた。	川崎市男女平等推進審議会	2022（令和4）年
2. 地域社会連携	川崎市中心小企業専門部会（委員長）	地域振興券に取り扱いについて意見具申。	川崎市中心小企業専門部会	2022（令和4）年07月29日

2022（令和4）年度 社会連携・社会貢献活動
～地域連携～

社会連携・社会貢献の方針	取り組み名／公的機関の委嘱／専修大学が参加している事業名	概要	連携先	取り組み期間・期日
2. 地域社会連携	川崎市内活動説明（ゼミ活動）	2022（令和4）年度の川崎市内での活動をゼミ生に説明するために、高津高校・松本教諭、川崎北工業会副理事長・和興計測社長・五十嵐氏を招請。		2022（令和4）年4月25日
2. 地域社会連携	川崎市立高津高校（定時制）との連携（ゼミ活動）	定時制高校生に経済学を学ぶ楽しみをゼミ生がレクチャーする予定。		2022（令和4）年12月
2. 地域社会連携	川崎北工業会オープンファクトリー（ゼミ活動）	3年ぶり開催予定だが、今年度から地元高津高校（定時制）がスムーズに関われるようにゼミ生が仲介できるように指導予定。		2022（令和4）年11月19日
2. 地域社会連携	多摩区3大学コンサート	Emo Hill(アカペラサークル) が出演。佐竹学生部長職務代行が3大学を代表して挨拶をした。		2022（令和4）年11月12日
2. 地域社会連携	大学・地域連携事業（川崎市多摩区役所委託事業）	多摩区に拠点を置く地域通貨「たま」の認知度の向上や流通を促進させることを目的として活動しています。このような事業目的の下、今年度の主な活動は、地域通貨が利用できる加盟店マップのリニューアル、加盟店へのヒアリング調査、認知度向上のための「緑化センター」への出店や「たま楽市」の企画運営、あるいは成功している地域通貨運営組織に対するヒアリング調査を行いました。		2022（令和4）年4月1日～2023年3月31日
2. 地域社会連携	第15回 川崎国際環境技術展への出店	データサイエンス研究プロジェクトの4つの成果の紹介 ○Wi-Fiの接続情報に基づく混雑状況の可視化 ○大学キャンパスでの電力需要予測 ○罫線付き紙データに対するOCRの作成 ○画像提示による食堂混雑緩和の取り組み	川崎市	2022（令和4）年11月17日～11月18日
2. 地域社会連携	第2回黒門寄席の開催	江戸情緒の残る神田神保町で古典落語などを楽しむ「寄席」の開催を通じて地域に貢献するとともに、新たな専修大学の「知」や「文化」の発信を追求することを目的としている。 新型コロナウイルス感染症の拡大状況をにらみつつ、第2回黒門寄席は、実際に観客を入れて実施し、観客は50名であった。実施に当たっては、ウェブなどの電子媒体による広報活動に加え、地域への浸透を図るためチラシを作成し、地元町内会（神保町三丁目町会、北神町会）や、商店街（靖国通り商店街連連合会）へ持参し配布した。なお、当日の様子は録画し後日ユーチューブ上で公開した。		2022（令和4）年7月22日
2. 地域社会連携	地域との協力	・（7月16日） 北神町会こども夏祭り運営協力(学生2名、職員3名)。同町会からの依頼。このほか、専修神田ボランティア（SKV）の数名も運営の協力を行った。 ・（7月22日） 第2回「黒門寄席」開催。神田10号館16階相馬永胤記念ホールにて有観客イベントとして実施。来場者は50名。また、後日録画をアーカイブ配信した ・神保町三丁目町会・北神町会・靖国通り商店街連合会へチラシ配布。 ・このイベントは「夕涼み」イベントの側面があり、CES助成金対象イベントとして申請したが、CESから認可は困難と連絡があり、申請を取り下げた。 ・（8月27日） 神保町三丁目町会夏祭り運営協力（学生26名、職員2名）。 ・（10月30日） 「専修大学ホームカミングデー2022」にて神保町古本祭りに参加 ・当日は「東京名物神保町古本まつり」の開催期間中であり、同イベントの運営母体である神田神保町古書店連盟と協議した結果、10号館1階吹抜及び広場にて本学が販売場所及び什器(長机)を提供し、古書店2店舗が販売を行った。 ・（1月8日） 神保町三丁目町会の新年会で千代田区長にご挨拶した際に、専修神田ボランティア（SKV）をご認識いただいていること、地域との顔の見える関係づくりの重要性についてのお話があった。（時間が合えば、クリーンタウンにも参加していただける可能性あり。）	千代田区内大学と千代田区の連携協力に関する基本協定	2022（令和4）年7月16日、7月22日、8月27日、10月30日、2023年1月8日
2. 地域社会連携	令和3年度 大学・地域連携事業	福原 康司 経営学部准教授 テーマ：地域通貨「たま」の普及を通じた地域・経済の活性化	川崎市多摩区	2022（令和4）年4月～2023年03月